（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和三年五月五日　磐城新聞　（土曜日）　（一）

五月節句に飾る鐘鬼さんの話

年中の行事の一つとして三月の雛祭りと一對となつてゐる五月のお節句は一名端午の節句とも呼ばれ、なほ重五、あやめの節句といふ異名があります、男のある家は

菖蒲　とよもぎとを軒にさし、柏餅を喰ひ、幟を立て武者人形その他武張つたものを飾るのがならはしであります、この五月節句の風習は遠く藤原時代から初まつたもので、德川の中期以後文化大政の時代になつて最も隆盛を極めたのであります、しかし一体に武家だけが盛んで一般町家に左程でもなかつたものです。武家では鎧や兜等本物に近いものを飾り、

門前　には槍や幟が立て我子の健康を祈りつゝ武道神讖の意味でこの節句が行はれたものであります、町家の方では極めて粗末な飾と玩具にひとしい物しが飾らなかつたのであります、明治になつてからは町家でも大變贅澤なものを飾るやうになりました、そして文政頃のそれには三尺以上に及ぶやうなものがあつたのが明治になつて小さなものとなりました、次に五月の節句に武者

人形　と同時に鐘馗を飾る風習になつてをりますが、これは支那の立字皇帝が病氣——にこりにかゝつたとき蠎鬼共に惱まされてゐるので、所謂この鐘馗が現れて追つぱらつてくれたといふ夢をみたが、夢からめると共に病氣が次第に癒つたので、それを德として夢みた鐘馗の姿を吳道子に描がしたのがはじまるもいひ、唯夢は藍袍をつけた鬼か現れて臣は終南山の進士鐘馗と申し、天下のわらはやみ（マヽ）除くといへ

なんのたけがもないは妾どの様にうれしいかも知れません」

「イヤ左樣であつたかナー」

「それぢやはやくいつてお父さんや政吉、新吉さんを千何萬どるとても慾ろき怖よんできてたくれ大急ぎでれる我々でない、藤兵衛の「ヘエよろしうございます許へ使ひをやつたと」

「それぢやア一走りいつてまうござんすかへあの野郎共「ハイ」

「その樣なことはせすともよをにがさねえやうにしておよかつた、定めし藤兵衛はビックリし急いで歸るであをさまし床の上に起き上つこりや金五郎そいつらに活石川先生や金五郎そいつらに活

「分つてゐるよ早くいつてを入れてやれ」

「承知仕りました」

金五郎は一々活を入れると氣のついた奴はキヨロ〳〵四邊を見廻す自分達はの前にチヤント座り傷一つ負はず話しをしてゐる、さては又やりそこなつたかと一同しよ氣かへつてしまつた

げたものであるまいか氣もそゞろ走りより座敷の中をの雨を降らしてゐる多勢無勢だからお二人はいかに腕がつゞきても一度は敵ふめ今時分はやられてゐるかんかも分らうえねねさん大變だ」

「オヽこれはたきぬどの兩人とも別にけがはごらんこの騒ぎで折角のたのやすみをいい」

三太のいふ通り二人の腕にすぐれてゐるにせよ多勢に無勢殊に金五郎の足は負傷は全癒しとらぬたきぬに斷ばりをいつた

「なにをおつしやいますお二人樣にもしたけががござつては大變、三太にまかせてはやく起き上り帶をしめ直し二人樣に出かけていつたのかお前いづれにいたせお二人樣に

「ヘヤ知つてをるかへ」

「ヘエ知つてをりやす今夜に遠くちやアありません、この近くですが」

「それぢやはやくいつてお父さんや政吉、新吉さんを千何萬どるとても慾ろき怖よんできてたくれ大急ぎでれる我々でない、藤兵衛の「ヘエよろしうございます許へ使ひをやつたと」

「それぢやア一走りいつてまうござんすかへあの野郎共「ハイ」

「その樣なことはせすともよをにがさねえやうにしておよかつた、定めし藤兵衛はビックリし急いで歸るであをさまし床の上に起き上つこりや金五郎そいつらに活石川先生や金五郎を殺し逃

金五郎は細引をとり出しあちらこちらに倒れてゐるやつを一緒に纏め高手小手にしばり上げた

これだけの騒ぎゆる棟をくんなさい親分をつれてけ別にするとはいへ母屋の方へ知れぬことはないあまりらるまで……」

「分つてゐるよ早くいつてたいではやく〳〵」

急ぎ立てられた三太は一目散に親分のもとへ走り出

「イヤ左樣であつたかナー」

「それぢやはやくいつてお父さんや政吉、新吉さんを千何萬どるとても慾ろき怖よんできてたくれ大急ぎでれる我々でない、藤兵衛の「ヘエよろしうございます許へ使ひをやつたと」

「それぢやア一走りいつてまうござんすかへあの野郎共「ハイ」

「その樣なことはせすともよをにがさねえやうにしておよかつた、定めし藤兵衛はビックリし急いで歸るであをさまし床の上に起き上つこりや金五郎そいつらに活石川先生や金五郎を殺し逃

群書一蹴猛優大會

松竹キネマ蒲田作品
諷刺劇　**夢の王國**
原名……所定めぬ修業の旅立ち
主演……林長二郎……千早昌子
悲涙狂　**鬼、あざみ**
人の生命の續く限り何を希ひ何を望むものであらふ、生命の終る時、人間が如何に弱者であるかを知る時何物を悟るであらふ？
主演……廣瀨恒美、浦邊粂子、高木永二
海洋活劇　**黒鷹丸**
黒鷹丸に青年北村の名と共に港の語り草である。港の猛者嵐の虎は美しき女性を中心にして北村を狙つて居る……異國の地、上海の港に恐るべき大施風が……
主演……淺岡信夫、伏見直江
幕末剣史　**熱血の魁人**
時……幕末洛陽の夜……朗々と詩を吟ずる大男がもつた勤王？佐幕？何れでもない。無用の剣狂だなッ……忠廣が鳴るぞ……來いッ
四月六日より　土曜日曜學生デー
「四日間限り」　日活松竹高級常設　**平館**（電四六八〇）

生花教授

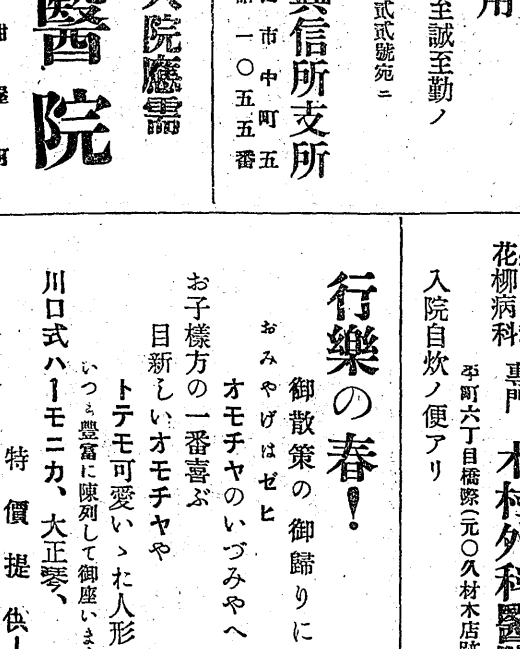
池ノ坊流　生花を懇切叮寧に御教授いたします、れ遊びがてら御出で下さい
平町五丁目（釜屋横町）
須藤まつの

女中さん入用
平町田町
磐城病院
電話一一四番

國產品普及宣傳

抽籤附大特賣
精工舍製腕時計セイコー
大懸賞額
賞品　一等金壹百圓（復興債券）五十本　二等金五十圓（同）百本　三等金拾圓（同）二百本　四等金五圓（同）五百本　五等精工舍製ニッケル丸形机上時計（一圓八十錢）百五十個（一本も空籤なし）
賞金總額金拾萬貳千九百七拾圓也
特約店　**會田時計店**
平町四丁目（電話三六三番）

入院隨時（自炊の便あり）
耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平町南町（電一七〇番）



藤沼醫院

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
平町紺屋町
電話平五〇七番

所員採用

平出張所勤務トシテ至誠至勤ノ士ヲ求ム
御希望者ハ郡山局私書函武式號宛ニ履歷書送附セラレタシ
東京商業興信所支所
郡山市中町五
電話一〇五五番

藤掛商店

營業品目　絹糸、絹紡績糸、綿糸、染糸、組紐、漁網糸、人造絹糸、カタン糸、輸出用加工糸、眞綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社　**藤掛商店**
糸界の羅針盤糸紐通報御一報次第直送　電話浪花三五一番　振替東京三一四〇番
小店員募集
十五才以上十七八才迄　五名
小學校卒業程度御希望の方
磐城新聞社御出で下さい。委細面談

瓶詰

販賣開始
一升瓶詰　一圓二十錢
四合同　四十五錢
二合同　二十三錢
自信ある優等酒を卸値より安く賣るために新に瓶詰小賣部を設けました
平町　永山酒造店小賣部
電話二〇七番

▲染色力……確實
▲使用法……頗る簡便
▲價格……低廉
定價……小瓶二五　中瓶三五　大瓶五〇
平町五丁目角
大販賣店　**山野邊藥局**

診療開始

外科
花柳病科　專門　**木村外科醫院**
平町六丁目橋際（元〇久材木店跡）
入院自炊ノ便アリ

平町田町
特約店　**廣瀨支店**
電話五四番

行樂の春！

御散策の御歸りに
おみやげはゼヒ
オモチヤのいづみやへ
お子樣方の一番喜ぶ
目新しいオモチヤや
トテモ可愛いゝ人形がいつも豐富に陳列して御座います
川口式ハーモニカ、大正琴、
特價提供！
平驛前　**いづみや玩具店**

（四日夕刊）
磐城新聞
休刊　大祭第一、第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵稅十錢）
廣告料（雜報欄行五十錢、處所指定三十錢增）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
福島縣平町田町舟場六
發行所　磐城新聞社

新信を提げて 第三校敷地決定
徒らに延べて置けぬと 町當局肚を決る

平町では就學兒童の增加と共に當然の必要に迫られ今明兩年度繼續事業として第三小學校を新築する事に過般の町會に於て決定し建設委員を擧げ敷地の選衡中五丁目以東鎌田町方面の關係町內と南町との間に敷地の

爭奪運動が起り期成同盟會等を設置し兩者とも組織的に猛烈な運動を開始したる爲め既に開會さるべき筈の敷地決定の委員會も町當局が徒らな兩者の激爭を讓す如き萬一の結果を憂慮し荏苒今日に及むであるか第三校建築に差し當り先決問題たる敷地が未定では豫算の編成、建設認可並起債申請等の手續も出來ず斯くては焦眉の急に迫られてゐる本問題が徒ら、遲引し延びては敎育上にも幾多の不便が招徠するので敷地爭奪に强辯中の兩者に對しては其の何れかゞ

不滿たることは止むを得ざる事であるから是れ等の毀譽褒貶を度外視し急速に委員會を開き敷地決定の上諸般の準備手續きに移るべく町當局の意嚮が決定したらしいから愈々本問題の解決も近くにあるものの樣に觀測されてゐる

昨今の天候と 苗代の注意
發育頗る良好

石城郡地方の水稻苗代播種は昨今大半の終了を遂げ播種後の發育狀態は昨今頗る良好で何等懸念する點はないと言はれてゐるが氣候が不順で温冷定まらず何時降雹を見ぬとも限らぬから降雹による被害を充分防止する樣天候の惡變せる際などは苗代へ滋水する事を忘れぬ樣注意せられたいと

赤井村の水田に 突飛な珍現象
その儘置けば稻は枯死 躍起に排水運動

石城郡赤井村大字塩田地內水田の田面に去月初旬から點々と白色を呈し始め日を經るに從つて白色が濃厚となり遂に約一町步に亘り純白色を呈するに至つたので苗代期に入つて此の**珍現象に**驚ろいた同村農會から郡農會に調查方を依賴し來たので郡農會大由縣は調査の步を進めてゐたのが昨三日縣農場高崎技手と當地視察の結果此れは同村地內の田の水にはアルミニユウムイオンが多量に含有してゐた爲め此の珍現象を呈したもので萬一此のまゝ播種、田植等を爲せば稻は全滅枯死の憂れあり同村では郡農會指導に本に直ちに**暗渠を造**り排水に努めてゐるが此れに就き大山技師は「此の現象は昨年も同村に少し見られたが此れは水にアルミニユウムイオンが含んでゐた爲めで窒素アンモニヤ、カリンサン等を多量に使用して暗渠排水を爲せば案ずる程の事もないでせう」云々

氣が狂つて 土管を窃取
湯本の甚太郎

湯本町字八仙雜貨商鈴木甚太郎（三四）は去る一日午後十時頃同町三函比吞樂吉方軒下にあつた土管三本同夜午後十一時頃同町竹田屋肉店から蒸衛價格十八圓分を窃取した事發覺三日平署に取押へられたが甚太郎は相當の資産を有してゐたが商賣上約一萬圓の貸金が未收となつた爲め此れを苦慮しり遂に幾分精神に異狀を來たし盗癖が生じたものるさ

平署伊藤部長 昇進榮轉
渡邊氏も榮轉

平警察署高等係主任伊藤榮次部長は警部補に昇任し須賀川署次席に榮轉し渡部泰二內勤部長は縣保安課勤務に榮轉渡部部長の後任としては縣高等課の大久保網藏部長が來任する事に今四日午前九時各れも決定發表されたが伊藤高等主任の後任は目下の所未定で勞働爭議其の他高等事件の頗る多い平署の高等主任決定までは相當の日時を要するらしと豫想されてゐる

春肥の購ひ入れに 郡下農村の苦心
米價の安に比して高く 金融は極度に詰る

石城郡に於ける今年の春肥は大體に於て豫想外の高値で取引されたが春肥需期も今月を以て終り愈々**夏肥の季**節に入る譯である而して夏肥についての豫想は概して春肥と變りはあるまい、人製肥料の如きは限產や價格の協定が確れたまゝであるけれども供給過剩で値を崩すようなことはあるまじく、大豆粕肥不引合の故を以て產地に於て限產が行はれてゐるから產地も在荷薄だと傳へられ內地の買付も亦尠いのであるから之も下落の見込が立兼ねる、其他の各種肥料も夏肥まで相場が維持さるべき模樣である尤も賣行きが旺盛であれば昂騰すること勿論であるが賣行きが不良であつてもその割には下落しないであらう、何故ならば問屋は賣行きの良好は餘り期待して居らず從つて**持荷し薄**いから賣行きの不良も狼狽せず之に反して賣行きが旺盛となれば在荷拂底から相場の暴騰を來たすことになるのであるる要するに夏肥の相場は春肥程度の維持であるとみるのが至當で春肥の需要は農村金融難のために五割方減少

霜害對策協議
平窪果樹組合で

平窪村果樹組合では今四日午前十時から同村役場に於いて臨時組合を開催過般の降霜害に依つて全滅の憂き目を見た梨園に對する善後處置並に桑園桃園の霜害豫防法執行等に關する協議をなした

であつたと孫さ[illegible]

收容中の患者 續々と退院
平チブス終熄

平町隔離病舍に收容中の腸チブス患者平町二丁目白土道之助、平町新田町林家藝妓光若、同かすみ亭高木重夫の三名は各れも去る二日全治退院したが今四日に至り平町三丁目篠原アサも全治退院此れで本月に入つてから四名の退院者を出した事となり現在隔離者は二十九名となりさしも猛威を振つた腸チブスも愈々終熄したものと豫想されてゐる

玉川村紛爭
小野縣議調停

石城郡玉川村字岡小名では區長問題で大字會を解散までして新舊同區長派が爭つてゐたが永井同村長外永瀨駒木根兩村會議員、前縣會議員小野晋平氏等の調停奔走により今回圓滿解決した

◆福引懸賞大人氣◆
觀衆千四百立錐の餘地なし 平館の第一日目

本社七週年記念の第二懸賞と抱き合つた平町活動常設平館の特別映畫大會は昨三日から蓋を明けたが第一日目の三日夜は開館前より平館前通りを埋め雪崩れ打つて入場した觀衆は七時ころまでに無慮一千二百七十人に及び文字通り立錐の餘地なき盛況を見たが上映々畫の優秀と相俟ち本社の懸賞福引が大なる人氣を惹き今四日、明五日の二日間に限る此の催しは連日大盛況を豫想されてゐるが第一日目三日夜の入場者當選氏名は左の如し

△一等（八七五番）平町古鍛冶町卅二　田城豐吉

△二等（五〇五番）磐城炭礦平發電所　鈴木寛

△三等（八一四）平町南町料理屋　柳家

江名漁船の 共同魚揚場
愈々認可さる

石城郡江名漁業組合長田中政吉氏から申請した同港護岸東隅の一部を共同漁船揚場に改築計畫は縣に於て調査の結果適切と認め認可する事に決定したが同工事は認可後十日間內に着工し一ケ月以內に竣工を要するのである

健康保險の診療に 不德の醫師横行
投藥は普通藥局からも 愈々根本を改善

石城郡所在各炭礦並に工場從業員に適用しつゝある健康保險法は不正なる僞病者等の續出により幾多の弊害を發見し之れが改善に就ては**各關係者**間に夫れ〜協議中であるが今度は保險醫が被保險者の治療に當りその態度が冷やかであり甚だしきに至つては配劑にさへ匙加減を行ふといふ噂や非難の聲が發せらるゝに至つたので當局では視察員を增員し事業主並に被保險者の監視並に指導を行ふ外不德保險醫を嚴重取締ることになつたが更に又かかる行爲を絶對なからしめるため本年度からは保險者と**藥劑師間**に協定が行はれ被保險者は醫師の處方箋によつて配劑して貰ふことが出來る樣になり福島健康保險署ではこの程右について本縣藥劑師會と打合せを行ひ、今明日中に被保險者に對してその旨を通知する筈であるがこの方法が實施されると保險醫師が萬一患者に適當な藥劑がない場合は處方箋によつて普通藥局から求めさせることが出來、更に被保險者が保險醫に信を置けぬ場合又は被保險者が田舍で都會の**醫師の處**法箋によりたい場合等は相互的に非常に都合がよい譯でこれによつて期せずして醫藥分業が行はれんとするので一部醫師會には或は相當の脅威を感ずるかも知れない

人間相互無限責任（五）
於入山立國自治會總會席上 本多（いはらき新聞社長）講演要旨

此の頃の時勢は何かあつたら喧嘩を吹きかけてやらうと言ふ本當に喧嘩の機會ばかり覘つて居る人が多い人間の目的は闘爭にありと言ふ所謂闘爭思想の影響からであらうが此の思想は主に西洋に起つた思想であつて、古來から互に助け合ひ仲好く生きて行こうと言ふ我が東洋民族の平和思想とは正反對な思想だが闘爭と言ふ事を知らないのは人間の恥とでも思つてゐるのか平和思想の根源である我が日本人が盛んに喧嘩を吹きかける機會ばかりを覘ふ樣になつた何故西洋には闘爭思想が起り、何故東洋に平和思想が起つたか、此れは由來西洋民族は水草を追ふ遊牧の民であり東洋民族は始めから一定の土地に定着した農耕の民であつたからで遊牧の民と言ふのは今日程文明の發達しなかつた昔年の西洋は優良な遊牧地を求めて放浪する民族で若し優良な遊牧地を發見すれば先住してゐる人があらうが無からうがお構ひなしに其處を占領し萬一自分等が占領しやうとする地に他の民族が居たならた互の民族間には戰闘が開かれるそうして勝つた方の民族が其の土地を占領すると言ふ文字通り優勝劣敗弱肉强食の占領、侵掠を生命とする民族であつた其れに反し東洋民族殊に我が大和民族の如きは當初から土着し相助合ふと言ふ事を信念とする平和思想に育まれて生長した民族である爲め博愛主義であり平和主義な民族であつた近年流行してゐる個人主義と言ふのは占領、侵掠を生命としてゐる猛獸の樣な西洋民族の間に生じたもので此の思想を平和を愛好し助台つて生きて行く事を生命としてゐる東洋民族の間に取り入れやうとするのは前にお話した樣な根本が違つてゐる事を知らない人で我が日本に生れ我が日本の國納を知らない人であります闘爭と言ふ事も大いなる平和を求むる爲めに小なる闘爭をすると言ふのなら肯づけるが現在の樣に何から何まで闘爭だ喧嘩だと人間が喧嘩をする爲めに生れてでも來たかの如く考へられたのではたまらない、何故に宗教が生れたか、お互に生かし合ふ爲めには自分も生きれば他も生かす他を生かす爲めに或場合には自分さへも犧牲にすると言ふ愛他の信念犧牲的信念は各れも東洋民族の間に生長して來た宗教であり思想であるのに宗教の殆んどが東洋から起つたと言ふ實狀を考へれば直ちに首肯出來る事であります。

創業七週年記念に 嶄新な二つの大懸賞
興味の中心に立つ此の方法
幸運者は三千圓當選

本社七週年記念事業の一なる懸賞は愈々左の方法により執行する事と致しました、曩きに發表した『寶探し』に代る最も嶄新な愛讀者各位に對し一般的の興味ある方法を選擇いたしましたから御吹聽の上精々奮つて當選の程を御願ひ申上ます。

△第一の懸賞

◇方法　五月一日發行夕刊（五月二日附）本紙第二面全紙中「漢字の誤字が何字あるか」をハガキに書いて本社懸賞係り宛て御出し下さい

◇締切　五月三日締切り當選者は五月五日夕刊に發表（正確に當てた方が多數の場合は在平日刊有志記者立會抽籤の上當選者一名を決す）

◇懸賞　當選者には割增金三千圓附復興債券十圓券一枚を贈呈（外に平町五丁目山野邊藥局寄贈の副賞）

△第二の懸賞

◇方法　五月三、四、五の三日に限り平町活動常設平館で興行する特別大映畫會の入場者にして本紙刷込みの（五月一日夕刊より刷込み）優待券を持參入場した方に限り入場の際福引番號券を差上ます

◇抽籤　抽籤は三、四、五の三日間午後九時半同館に於て觀衆中より三名を立合はせた上執行し當選者毎晩三名を決定します

◇懸賞　一等割增金千五百圓附復興債券五圓券一枚（二等）價格三圓位の物品（三等）價格一圓五十錢位の物品を贈呈致します

磐城新聞社

生花免狀授與

福島縣石城郡平町六丁目池ノ坊正花教授正樹庵旭松正木秀子門弟日夜勉勵成績優良ニ付昭和三年五月一日左ノ者ヘ免許狀授與ス

皆傳（平町）中野艶　皆傳（同）高田トヨ　皆傳（同）猪狩ツル　中傳（同）正木コト　中傳（同）正木とサコ　中傳（同）佐藤ミヨ　中傳（同）岡田リキ　初傳（同）田仲イチ子　初傳（同）鈴木ヤス　初傳（同）山內光子　初傳（同）鈴木コウ

中傳（勿來）安島アキ　中傳（同）安島ノブ　中傳（中濱）蒸谷トキ　中傳（同）谷島ツル　初傳（同）水野ヨシ　初傳（同）鈴木咲子　初傳（同）鈴木マツ　初傳（同）根本ミセ　初傳（同）鈴木ヨシ　初傳（同）篠原イネ

內科、小兒科（院長每日診療）　院長　醫學博士　難波睦
內科部長　粟野省三
外科一般花柳病科　外科部長　醫學士　氏家憲介
產婦人科　產婦人科部長醫學士　五十嵐雄二
藥局　藥局長　吉本孝平
本院主事　賀澤忠治
電話七二番

獨逸シーメンス、ユニバーサル、ヘリオドル　最新X光線裝置　五月十日ヨリ診療開始
主任　醫學博士　難波睦
入院自炊ノ便アリ
◉看護婦募集
磐城　共濟病院　平町　電話六四一番

X光線　外科　外科專門
入院隨意（自炊の便あり）
平町南町　上田外科醫院　電話一二九

平町紺屋町　吉田眼科醫院

創業七週年　懸賞福引
五月三、四、五の三日間　平館特別大映畫會
讀者優待券
本券持參の方に限り　金廿錢で入場出來ます
此券引替に福引券贈呈
磐城新聞社

（切取線）

創業七週年　懸賞福引
五月三、四、五の三日間　平館特別大映畫會
讀者優待券
本券持參の方に限り　金廿錢で入場出來ます
此券引替に福引券贈呈
磐城新聞社